



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:059-331-1670
 fax:059-332-0733

掲示板法話

あけまして南無阿弥陀仏

日々精一杯勤め励みましよう



思い出さず
忘れずに
浄土真宗
本願寺派
善正寺
住持 山科本願寺

「あけまして 南無阿弥陀仏」。
 読者の皆様、新年おめでとうござい
 ます。この年頭の二挨拶は、蓮如上人
 (当時七十九歳)のお正月のエピソードに
 ヒントを得たものです。

山科本願寺に年頭の二挨拶に参つ
 た道徳という方が「あけましておめで
 とうございませう」と二挨拶をしたとこ
 ろ、「道徳いくつになるぞ、念仏申さ
 るべし」(蓮如上人御一代記聞書)と
 蓮如さまは仰せになったそうです。年
 齢を数え年で数える当時、年が改まれ
 ば年齢が一つ増えますから「幾つにな
 るのか?」と尋ね、重ねて「念仏申し
 ましよ」と大事なことをずばりと勧
 められたことに学びたいと思います。
 昨秋、相次いでテレフォン法話の創
 設、呼びかけ人の先輩住職さんが亡く
 なった頃、ふと亡父の著作を再読し、
 「素懐 釋尚爾」という遺言のような
 言葉を再発見しました。

素懐 釋尚爾
 冬もみじ母なる土に召され往く

散り行くもみじに寄せて、老い先遠
 くない心境を詠んだ俳句に続く添書
 きは、寝たきりのまま念仏三昧であつ
 た父らしい信心の述懐だと思われま
 す。
 生まれた限り、いつか終わりの時が
 来るのは、諸行無常という真実の道理
 であり、自然のことです。それは命終
 わりて、唯土に還るだけの事ではあり
 ません。「必ず救う、任せよ」のご本
 願のままにお浄土に仏として生まれ
 変わる往生成仏の一筋の道に召され
 ていくことです。「お救いに遇えてよ
 かった。何と有難いことであろうか」、
 との喜び、感動が込められているので
 しょうね。最後の「ああ有難き哉」と
 いう言葉に寂しさも癒され、救われて
 往くわが身を実感致しました。

散りて土に還る 是自然なり
 浄土の往生 是必然なり
 願力盡窮にして自然
 ああ有難き哉

人生百年時代とは言え、寿命には限
 りがあり、自然災害も事故もありませ
 う。「他人事が我が事となるこの世かな」
 ですね。それ故、生きていることは生
 かされていることであり、偶然です。
 不思議に命頂いて新年を迎えること
 はまさに「有難きこと」であります。
 どうかこの一年、「ひかりといのち
 極みなき阿弥陀仏」を拝みつつ、日々
 精一杯それぞれに勤め励みましよう。
 南無阿弥陀仏は最高におめでたいこ
 挨拶なのですね。



☆ 写真アラカルト ☆



☆行事ご案内☆

- ◇元旦会&御正忌お朝事
 - ※元旦会(がたんえ) 1月1日朝9時、正信偈・法話
 - 新年のスタートは家族「揃ってお寺参りから
 - ※お朝事 1月13日14日15日16日の朝7時
 - 連日4日間のプチ修行、正信偈、法話、茶話会
 - ◇除夜の鐘 12月31日夜11時45分より
 - 誰でも撞けます。家族お揃いでどうぞ!
- ◇一緑会テレホン法話 TEL059-354-1454 3分間法話
- 12/30 から1/5(住職)、1/13~19(坊守)、
 1/20~26(若院)担当、18冊目法話新刊本が新年早々発行
- ◇絵手紙教室 1月14日(第2の火)10時(51回目)
- いつからでも入会OK、初心者歓迎、小杉郵便局展示
- ◇キッズサンガ 1月4日(土)午後4時
- 夕方5時の鐘は年中無休、除夜の鐘、元旦会もどうぞ
- ◇歌声喫茶(第3木)午後1時庫裏食堂(11回目)
- ◇善正寺ホームページ「三重善正寺」で検索1年分寺報閲覧
- 毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」が大好評、
 開設11年5か月で30万8千訪問、お悩み相談も可、即返信
- ◇新納骨堂:後継者のない方、お墓で困りの方ご相談下さい
- ◇法事場所でお困りの方:本堂使用可。寺にご相談下さい。

坊守スケッチ 子供育成に『交流』が大事

中日新聞(12月7日)で、名古屋の85歳女性の投書に関心を持ちました。

「私は以前複数の小学校放課後クラブで、読み聞かせのボランティア活動をしてきた。訪れる先で子供達には微妙な違いがあった。どの子も静かに落ち着いて耳を傾ける所もあれば、集中できずに動き回る児童が多い所もあった。学校の教育方針の違いがあるかもしれないが、子供達が落ち着いてみえる学校の多くは、地域活動が熱心な気がした。児童は近くのコミュニティセンターに集い、勉強会や見学会や交流会を通じて、様々な世代と触れ合っていた。こんなふうには常に他者を意識して交わろうとする姿勢が、子供達にも知らないうちに兼ね備わったのではないだろうか? 少子高齢化が一層進む昨今だからこそ、より住みよい地域にしていく為にも、《他者を意識した教育》は不可欠だと思ふ」

さすがわが地域は、長年の参り付き合いで培われた「仏さまの眼」が子供心にもしっかりと刻まれていました。

しかし近年こういう『土徳』が失われつつあります。「子供は忙しいので、法事は年寄りだけで簡単に済ます」とか、「報恩講や盆参りも省略する」という家が増えてきました。仏事に限らず、冠婚葬祭も少人数の家族だけで済ます現象が広がってきました。

しかしその代償は意外な面に現れます。家族間のDVや幼児虐待、介護拒否等、弱者にしわ寄せがいき、引きこもりや陰湿なイジメ事件等、家族が壊れ、現代の間を深刻化します。

令和の子供達には、直に多くの人と交流する機会を持ち、他人を思いやることができ、仏様に恥ずかしくない人間になるように育てたいものです。

寄稿

口元を押え咳するマスクかな 釋妙水
天の蒼木々の紅葉や地に還る
ラッシュ時の雪崩の如くマスクかな
縁側に笑いの渦や焼き芋食う
長き影踏みつ踏まれつ冬の朝 釋清風
目を閉じて匂うがままの柚子湯かな
柚子浮かべ艶も香りも一人占め
令月や冬野巡りて猫に逢う
大慈悲の光を受けて明けの春



☆若院夫婦の『育自な日記』61

長男の小学校では毎年十二月にかけ足運動記録会があります。長男の背丈は真ん中ぐらい、細身であり馬力が無さそうなのですが、親も驚くほど頑張つて走ります。

毎日、高台の上の小学校まで通つて足腰が鍛えられたのでしょうか。近所に負けず嫌いの同級生がいることも理由かもしれません。記録会の上位には同地区の子が多く入っています。そういえば長男は風邪をこじらせることも少なくなりました。今は季節柄、インフルエンザに怯えています。基本的な予防法を実践するよう聞かせています。

記録会は保護者も応援にかけつけます。二年生はトラック三周のわずか五分程度ですが、その短時間にもドラマが生まれます。スタート直後、いつも上位に入る子がこけて両方の靴が脱げてしまったそうです。しかも靴下のまま走り切つたというのですから、その子の頑張りには拍手です。

走り終わった長男に「十位とはスゴイ! よく頑張つたね」と声をかけると、清々しい顔をしていました。複雑な表情をした子もいましたが、完走した達成感を忘れずいてほしいと思います。



ホットニュース

◇一縁会テレホン法話、12月30日、1月5日(住職)、1月13日、19日(坊守)、1月20日、26日(若院)が担当。電話059-354-1454へお電話下さい。新年早々18冊目の一縁会テレホン法話新刊本発行予定

◇来年4月18日(土)1時三全仏婦主催初参式の赤ちゃん・幼児を大募集。カンパありがとう

海野公子様、関崎敦子様、山中ツヤ子様、服部君枝様、部よね様、鏡幸代様、松岡康様、矢田たず様、豊住久美夫様、柴田美津代様、盛野佳子様、白井孝義様、広田伊久枝様、川村和閑子様、服部邦子様、他匿名様より感謝!

令和2年度善正寺主行事案内

- ☆お朝事 1月13・14・15・16日の4日間朝7時より本堂で正信偈、法話
- ☆春季永代経 3月14・15日両日共午後、講師加藤学先生
- ☆仏壇初参式&障眼会 4月18日(土)午後1時加藤幸子先生 赤ちゃん募集
- ☆善正寺門信徒總會 5月17日午前
- ☆五圓盆会法要 8月14日(金)朝
- ☆秋季永代経 8月15日・16日両日共午後1時半 加藤正人先生
- ☆報恩講 11月2日午後と夜・3日午前と午後 仏婦報恩講 守快信先生(滋賀)
- ☆秋勧進 11月23日午前8時
- 12月5日(土)10時半 お内仏報恩講

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第三百十三号をお届けします。◇新年おめでとつございませす。本年もどうぞ本紙に愛読下さい。

今年は東京オリンピックの年です。前回のオリンピックから早
56年経ちました。東海道新幹線が走り日本経済は高
度成長期に突入しました。平成に入ってバブル崩壊
二度の大震災や相次ぐ大洪水等、かつてない天変地異が
次々に襲いました。同時に家族の形態も核家族か
ら単身家族が増えて少子高齢化へと変遷しました。
仏法が子や孫に伝えにくい時代になりました。SNSの普
及で自己中心主義の人が多くなりました。生活が便利で
豊かになった反面、人として大切な教えを見失ったよう
に思います。果たして次の50年はどんな時代になるのかと
心配です。ところで御門主様が發布された「松達の
ちかい」は現代人に生きる指針を分かり易くお示し下さ
いました。「自分の殻に閉じこもることなく、穏やかな顔と
優しい言葉を大切にします。微笑み語りかける優しさのよう
にスマホで自分の気に入った相手としか交流しない。スマホの人
間、「イヤネ」をもらうと自分が認められたような錯覚に
陥る脆い絆。ご先祖は共に汗を流し、苦しみや悲しみや
喜びを分かち合った家族を大事にしました。安心して日
々精一杯勤める為にも、「私達のちかい」を毎日唱えて
心に刻んで下さい。私は朝の散歩時と夕方孫とお仏壇で
お参りする時に唱えます。知らず知らずの間に仏さまの温か
なお慈悲に包まれて、「大丈夫だよ」と背中を押して下さい。気
持になります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。除夜
の鐘、元旦会、お朝事（石ころ）どうぞお参り下さい。合掌
令和二年一月 善正寺坊守 拜